

美濃屋盆の御披露

弊店累代漆器高き業として
 殊に何品に拘らず高尚優美
 として雅致ある器を製するを
 以て特色としりしは美濃屋盆
 と稱する器は尤も巧夫を凝らし
 煎抹の漆器或は食器を容
 るに應用せしむるにれは
 既に江湖諸君の嘉評を博
 し販路大に開け弊店の光
 榮とする慶あり第一本地
 製をれば堅固にして時
 味あり塵埃の汚す憂なき
 又々好著は盆も代用する事一便
 利ありが以て風流家は勿論旅館刻
 意揚子等の客室に付たりしに於ては
 最も適當の器ありと信せり故に大方
 諸顧客も試用ありしと傳ふ希し
 所あり



京都市寺町通三條南入
 美濃屋漆器店主人敬白